



毛呂山町長 井上健次

## 平成26年度

# 施政方針

「思いやりあふれるやさしい町もろやま」をめざして

東日本大震災から3年という歳月が経過しました。1万5800人を超す尊い命と、未だ発見されない2600人を超す行方不明となら

れている方がたに心より哀悼の意を捧げ、全国で26万人を超す避難生活を余儀なくされている方がたに衷心よりお見舞いを申し上げます。

一昨年12月における衆議院議員総選挙により自・公連立という再びの政権交代が行われ、昨年はアベノミクスと称される経済施策、いわゆる「三本の矢」が矢継ぎ早に出されました。新しい施策と金融緩和により円安が進むことで輸出関連企業が好調となり、日本に対する世界のお金の動きも手伝い株価の上昇へと波及、すべての関連する施策が功を奏し、日本経済は緩やかに改善の兆しを見せてきたところです。

そのように景気が持ち直してきた

なかでも東日本大震災による被災地の復興施策は決して満足な状態ではありません。これからも、同じ国民として物心両面からの支援を続けていかなければならないことを改めて感じています。本町における被災地支援につきましては、引き続き「復興支援プロジェクト委員会」を中心としまして、平成26年度も継続的に皆さまの温かい心を形に変えて進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 平成25年度を振り返って

さて、アベノミクスの15か月予算として果敢に取り組んできた平成25年度は、一般会計補正予算も7号と予算編成を重ね、動きのある行政運営を行ってきました。

「毛呂山町におけるアベノミクス効果」につきましましては4ページに詳

しく掲載いたしました。さらにそれ以外の町政運営全般をみましても、平成25年度は本町にとりまして「思い出に残る年」となりました。

「川角中学校の生徒が修学旅行で新幹線を清掃して下車した話」や「毛呂山中学校の生徒3人が踏み切りに閉じ込められた高齢者を救出した話」と、子どもたちの善行がテレビや新聞各紙によって全国に報道されました。そして、8月にスペインのバルセロナで行われた世界水泳選手権大会では、毛呂山町出身の瀬戸大也選手が男子400メートル個人メドレーにおいて金メダル獲得という快挙を達成しました。日本中が歓喜に包まれるなか、町では初の特別栄誉賞の授与式を行い、西入間警察署の主催する「瀬戸選手の交通安全パレード」では3000人を超える方がたと共にお祝いをすることができま

した。

しかし、先の2月14日から翌15日に降った大雪では、本町でも未曾有の被害が発生し、現在もその復旧が終わらない状況です。町としても農業関係で被害に遭われた方がたの助成に全力で対応しているところです。

そして平成26年度をむかえ、町長に就任して早くも3年が過ぎようとしています。

選挙時の政策・公約につぎましては議員各位のご指導やご協力をいただきながら職員一丸となって取り組み、8割を超える達成状況となっております。しかしながら、残る約2割の案件につきましては更に難しいというえ、絶えず変化しつづける現状を考えると、これからの1年の任期は「イバラの道」と覚悟を決めているものであります。とりわけ今年は、税と



社会保障の一体改革とする消費増税が実施され、4月からは消費税率5%が8%に変わる年であり、これに伴い国民生活が大きく揺れ動くであろうと予想されます。

皆さまから町に寄せられるニーズはこれまで以上となり、「如何に皆さまから信頼される町となれるか」そこに重点が置かれるものと深く認識しているところです。「オーナーは町民の皆さまです。私はタウンマネージャー(支配人)として働きます」これは、私が選挙の時に街頭で演説した言葉ですが、職員共々この思いを共有し、更に高度な町民サービスが図られるよう精進してまいります。

●平成26年度の主な取組

○合併60周年記念事業  
昭和14年に毛呂村と山根村が合併して毛呂山町が誕生。昭和30年には旧毛呂山町と川角村が合併し、現在の毛呂山町が誕生しました。そして来年、平成27年4月1日には合併60周年を迎えることとなり、それを祝うために平成26年度は様々な合併60周年記念事業が計画されています。今後、合併60周年記念事業実行委員会を編成し、記念に残るイベントを催してまいりますので、ぜひ多くの皆さまとお祝いができますようご指導とご協力をお願い申し上げます。

○防災と高齢者福祉

消防デジタル無線共同運用事業を坂戸・鶴ヶ島消防組合と西入間広域消防組合とで進めています。具体的な工事に着手してまいります。また、この冬の大雪で発生した孤立集落などの問題を解消するべく、もしもの場合でも連絡が可能となる衛星電話を導入します。

○教育環境の整備

「毛呂山小学校の天井部分のモルタル落下」の事故を受け、町立4小学校と2中学校の天井などの安全点検が終了しました。毛呂山小学校におきましては子どもたちの安全を確保しながら対策工事を早急に進めていきます。

昨年度に着手した川角中学校の大規模改造工事につきましては、継続して北側校舎の工事を進めています。そして、いよいよ懸案となっていました小・中学校の空調設備(エアコン)設置工事につきまして、町立2中学校について実施し、次年度以降継続的に小学校への設置を進めます。

につきましては、継続して4小学校で実施します。

○生活環境および道路整備

下川原地内の葛川(くまがわ)改修工事として護岸工事に着手し、地域の活性化と生活環境を整えます。

道路の安全対策では、越辺川の松貴橋の側道橋工事を実施し、通学路をはじめとした歩行者の安全対策を講じます。また、路面ペイントやガードレールなどの設置を継続的に進めてまいります。

道路整備では、武州長瀬駅北側周辺整備事業の最終年度として野久保線を県道39号線まで延伸し、早期完成をめざします。さらに、川角駅周辺地区整備事業を進めグラウンドデザインをお見せできるよう進めてまいります。

交通施策では、新しい町内循環バスシステムを構築し、10月1日から開始します。

○観光事業など

観光事業では、総合公園内の花蓮事業を推進し、ジョイントした観光施策を実施します。

また、そのほかの事業では、越辺川で県より採択をいただいた「川のまるごと再生事業」の工事着手、町事業や各種案内を皆さまに知っていただくため懸垂幕装置(けんすいまく)を役場庁舎入口に設置、そしてN-TT発行のタウンページと合冊した「町民便利帳」

を全戸へお届けします。

今年もわびごう...

「思いやりあふれるさわやか町もろやま」をめざして

平成25年度、町を盛り上げていただいた嬉しいお話の数々は、町にとりまして町民皆さまの口ごころからのご支援やご協力の賜と感謝に堪えないものでございます。特に、若者たちの活躍が、より一層毛呂山町を盛り上げる効果となって、町中に温かい空気を生んでくれたことは将来の町づくりにおきまして大きく期待される動きとなりました。

今年度は、合併60周年記念事業も計画されていますが、なんといいまでも「協働のまちづくり」は町民皆さまのお力をお借りしなければならぬものです。そのうえに「自助・共助・公助」たる町づくりができるものであり、昨年からはじめました「タウンミーティング」は、「協働のまちづくり」を進めるための施策です。町を預かる私たちが地域に向いて皆さまの声を直接聞く取り組みですが、今年度も多くの地区に出向いてまいりますのでどうぞ皆さま一人ひとりの声をお聞かせいただけますようお願い申し上げます。

結びに、毛呂山町の発展のために職員と一丸となり、全身全霊で働くことをお誓いし平成26年度施政方針のごあいさつといたします。



## 緊急経済対策事業（アベノミクス効果）に9億7,909万8千円

平成25年1月に閣議決定した「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を受けて、政府は平成24年度補正予算と平成25年度本予算を合わせた15か月予算を示しました。これによって、盛り込まれた「地域の元気臨時交付金（地域経済活性化・雇用創出臨時交付金）」などを活用して、町では多くの事業を行いました。ここでは、平成25年度にアベノミクスと称される経済対策の一環で、国からの交付金を財源として施された事業を紹介します。



アベノミクスで行った事業は多いんだね！

### 【国の補正予算でエントリーした事業】

■平成24年度予算事業（25年度に繰越して執行）

- ①福祉会館耐震補強工事設計委託事業
  - ②橋梁長寿命化修繕計画策定委託事業
  - ③路面性状調査委託事業……………
  - ④武州長瀬駅北口周辺地区整備事業……………
  - ⑤小学校トイレ改修事業……………
- } 584,953千円

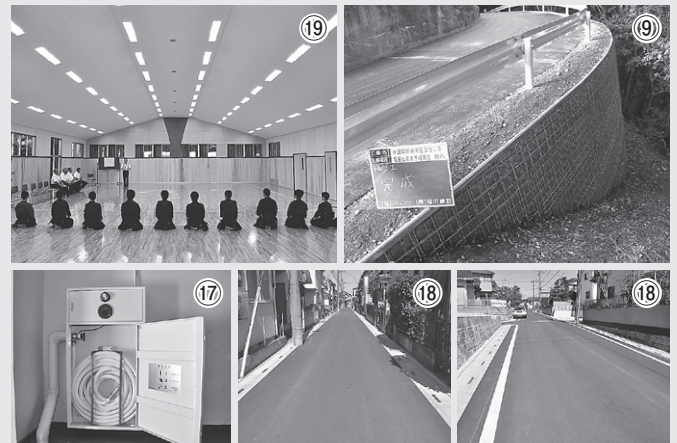


④自由通路や橋上駅舎が整備された武州長瀬駅  
⑤きれいになった毛呂山小学校のトイレ

### 【地域の元気臨時交付金の活用】

■平成25年度予算事業（主なもの）

- ⑥庁舎エレベーター改修工事……………
  - ⑦庁舎自動ドア改修工事……………
  - ⑧庁舎火災報知設備交換工事……………
  - ⑨林道中野線擁壁改修工事……………
  - ⑩農道側溝修繕工事（阿諏訪地内）……………
  - ⑪総合公園プール蓮池排水工事……………
  - ⑫道標設置工事……………
  - ⑬観光案内板設置工事……………
  - ⑭教育センタートイレ改修工事……………
  - ⑮日生団地内側溝修繕工事……………
  - ⑯東原団地内側溝修繕工事……………
  - ⑰光山小学校消防・放送設備改修工事……………
  - ⑱町道整備事業（9箇所）……………
  - ⑲川角中学校武道場改修工事……………
- } 259,114千円



⑱改修された川角中学校武道場 ⑨擁壁が改修された林道中野線（権現堂） ⑰新しくなった光山小学校の消防設備 ⑱第一団地内の町道整備（下中） ⑱毛呂山台地内の町道整備（下右）

※⑱⑲は町債として借入れを行う予定であったが、今回の交付金を充てて実施した事業

### 【社会資本整備総合交付金の活用】

■平成25年度追加事業（舗装修繕工事）

- ①町道第1号路線（苦林・大類）……………
  - ②町道第2号路線（西大久保）……………
  - ③町道第8号路線（旭台）……………
  - ④町道第9号路線（前久保）……………
  - ⑤町道第13号路線（大谷木・葛貫）……………
  - ⑥町道第107号路線（市場・下川原）……………
  - ⑦町道第108号路線（長瀬・葛貫）……………
  - ⑧町道第108・3976号路線（長瀬・葛貫）……………
  - ⑨町道第110号路線（川角・若山2丁目）……………
  - ⑩町道第116号路線（滝ノ入）……………
  - ⑪町道第119号路線（小田谷・岩井西4丁目）……………
  - ⑫町道第3023号路線（市場）……………
  - ⑬町道第2059・2063号路線（西戸）……………
- } 135,031千円

